

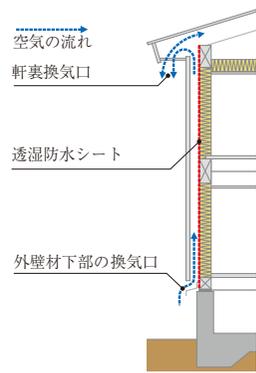
「信頼」という名の品質。

木造軸組+パネル工法

柱や梁などの軸材を組んで骨組みを構成する伝統的な軸組み工法に、耐力壁として構造用合板を採用し、面の強さを組み合わせたオリジナル工法です。壁だけでなく、床にも構造用合板を用いることで、柱・梁の軸組と床・壁の6面で支える、より頑丈な構造体を作り上げます。

■ 外壁通気工法

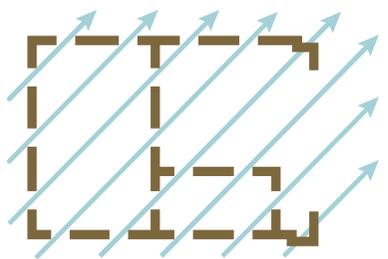
壁体内に湿気を残さず、常に空気が流れることで、構造躯体を乾燥させた状態に保つことができ、耐久性のある住まいを実現します



※計画により構造が変更となる場合があります。

■ 基礎

建物の重さをしっかりと地盤に伝える鉄筋コンクリート造のベタ基礎を採用。基礎のベースの下には防湿シートを施工し、防湿効果のあるコンクリートの上に敷き詰めることで、基礎下の土壌から発生する湿気をシャットアウトします。



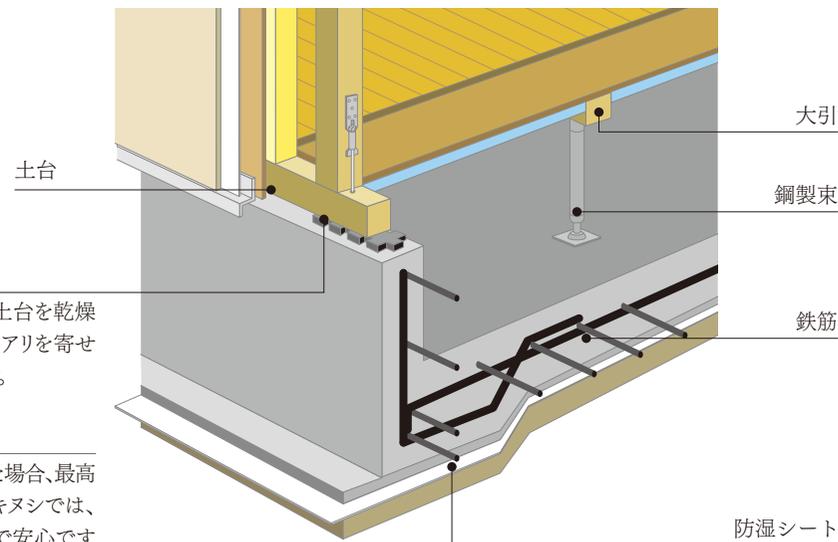
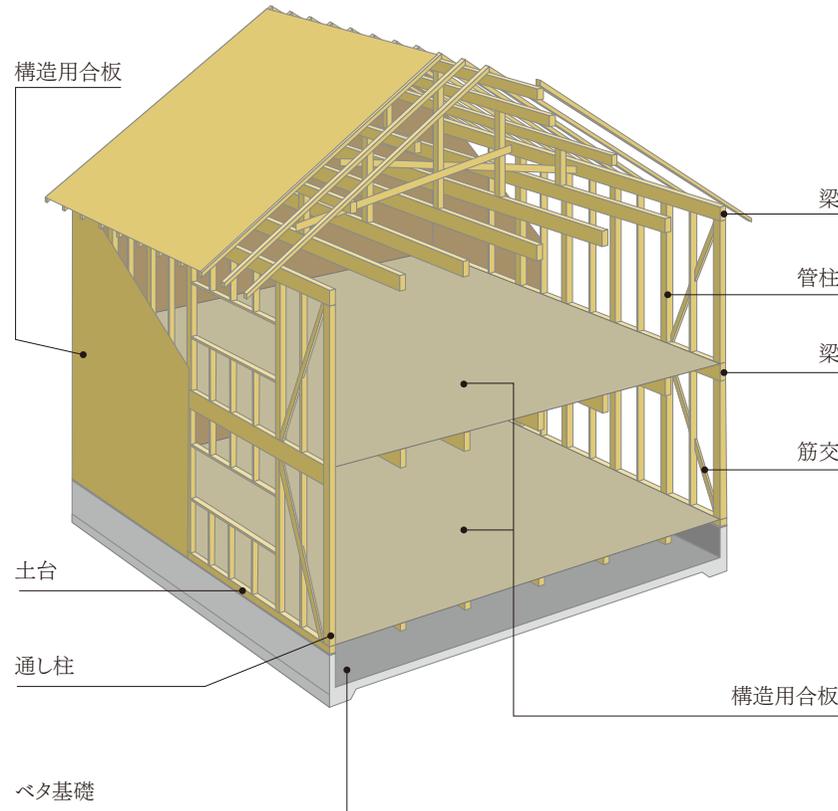
基礎パッキン工法のイメージ

基礎パッキン

床下の湿気を効果的に排湿し、土台を乾燥状態に保つことで、腐朽菌やシロアリを寄せつけにくい床下環境を実現します。

Joto しろあり補償制度

竣工後10年以内に蟻害が発生した場合、最高500万円を補償する制度です。マキヌシでは、薬剤の防蟻処理も行っているので安心です



エンジニアリングウッド

木材を複数張り合わせたエンジニアリングウッド(集成材)は、一般製材の約1.5倍という高い強度を長期にわたって発揮します

乾燥材

乾燥材を使用することで、木材の変形を最小限に抑え、経年変化に伴う問題を効果的に解消します

鋼製束

鋼製束はプラスチック製や木製に比べて圧倒的な高強度・高耐久を誇ります。

アンカーボルト

土台と柱、さらには基礎まで固定します

■ シックハウス対策



新築住宅に入居した人が、目がチカチカする、のどが痛い、めまいや吐き気、頭痛がするなどの「シックハウス症候群」が問題になっています。マキヌシでは、その原因の一部となるホルムアルデヒド放出量の最も少ない等級で、安全性に優れた「F☆☆☆☆」クラスの建材を採用しています。壁紙や床材の仕上げ材はもちろん、構造用合板や断熱材などにも厳しい基準を設けています。